



キャリア教育におけるカリキュラム連携(卒業生に学ぶ)

10月11日(火)2校時に尾倉中学校の卒業生である北九州中央高等学園の生徒を招いて、特別支援学級で「卒業生に学ぶ」授業を行いました。

今回の授業は、「自立と社会参加に向け、学校卒業後の学びを継続できるようにする必要がある」ために設定した授業です。

この日の授業は、4組の生徒と血倉小学校の5・6年生を対象に実施しました。この日来校していただいた卒業生は、中山 晶さん(2年)、山口 慶宗さん(2年)です。高校生らしく堂々とした態度は在校生のお手本となったことでしょう。2人の先輩には、事前に在校生が考えた内容について答えてもらいました。内容は、以下の通りです。

- ① 北九州中央高等学園での学校生活について
- ② 進路決定について
- ③ 中学校でやってよかったこと、やっておきたかったこと
- ④ 後輩へのアドバイス など



【生徒の感想(一部抜粋)】

- 勉強面では、自分の苦手な数学の図形や単位の変換などを少しずつ克服していきたいです。
- 私が今しないといけないことは、自分の目標を作って、4組のリーダーとして分からないことがある時は、先生に尋ねたりしていきたいです。
- 先輩の進路に話を聞いて、勉強になりました。中学校でやってよかったこととやっておきたかったことを聞いてよかったです。
- 自分のために考えたことは、進路を決めて、その勉強をしなければいけないと考えました。
- 今のうちに勉強を頑張っ、いい仕事に就けるようにしていきたいです。人との関わりを中学校でもった方がいいと思いました。
- まず、自分の好きなことを見付け、自分に何ができるのかを考えてみて、そのためにも自分のためにいろいろなことに挑戦しようと思いました。
- 実習では、2週間本当の仕事のように働くので、コミュニケーションや体力が必要なので、これから中学校生活でできるようにになりたいと思います。
- 今回の卒業生から話を聞いて、自分も将来のことを考え直して、今やっていけないこと、もっとやっておいたほうがいいことが分かりました。
- 自分の将来のためにやっておくことを考えて、まずは、勉強を頑張っておけば大丈夫なんだと思いました。
- これから何をしていくのか、体験談を話していただいたおかげで、道が見えたような気がします。これからの1年半を大事に使っていききたいと思います。
- 自分のために考えたことは、高校受験で面接や作文などでどのように答えればよいか、また、どのように想像して文章を書けばよいかなど、先輩が言っていた通り、就職する時に、自分が本当に向いているかなどを考えたいと思いました。

第76回尾倉中体育大会練習始まる!

10月22日(土)に開催される本校第76回体育大会の練習が始まりました。11日は結団式を行い、赤組、青組のクラス分けを行いました。その後、各色の先生方が生徒にエールを送りました。この3年間コロナ禍での開催でしたので、今年は従来の形に戻すよう教職員一丸となって生徒と共に頑張っていきたいと思っています。

そこで、地域の皆様にご協力をお願いします。体育大会の練習に当たり、地域の皆様には音楽やアナウンス等でご迷惑をおかけする場合がございます。お詫びとともに22日の土曜日の体育大会まで、もうしばらくご協力をお願いしますことを、お許し願いたいと思っています。生徒の頑張りにご理解とご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。



体育大会に向けて、グラウンドの整備を全校生徒で行いました!(主に草抜き作業を頑張りました)